

令和 2年度予算見積調書(9月補正予算)

課室名：特別支援教育課
 担当名：教育環境整備推進担当
 内線：6883 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B3	障害のある子供たちの超スマート社会を生き抜く力を育むICT環境整備事業			一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援教育振興費	ゆとりある障害児教育推進事業費	
事業期間	令和 2年度～	根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 学校教育法、学校教育の情報化の推進に関する法律第二十一			宣言項目 分野施策	06 次代を担う人財育成 030622 質の高い学校教育の推進		
1 事業概要				5 事業説明					
障害から生じる課題や困難さを改善・克服し、誰一人取り残すことのない個別最適化された学びを実現するため、全ての県立特別支援学校における障害特性に応じたICT環境の整備などを行う。 (1) 障害の特性に応じたICT環境の整備 70,808千円 整備を加速させるための増額(5号補正)153,438千円 (2) 子供たちの障害特性に応じてICT機器を活用できる人材の育成 100千円 ICT技術支援のための増額(5号補正) 9,636千円 (3) 病弱教育におけるICTの活用 1,800千円				(1) 事業内容 超スマート社会で生き抜く力を育む特別支援学校における障害特性に応じたICT環境整備 72,708千円 整備を加速させるための増額(5号補正) 163,074千円 (2) 事業計画 ア 障害の特性に応じたICT環境の整備 (ア) 学習用タブレット端末の整備 (イ) 指導者用タブレット端末の整備 (ウ) 無線LAN環境の整備 (エ) 大型提示装置(超短焦点プロジェクター)の整備 (オ) タブレット端末用アプリや補助入力装置など、障害の特性に応じたICT機器等の整備 (カ) 遠隔学習用機材等の整備 イ 子供たちの障害特性に応じてICT機器を活用できる人材の育成 (ア) 公開研究授業の実施 (イ) 研修資料や実践事例の共有化 (ウ) 大学教授、企業関係者などを招いた研修会の実施・ICT技術者による支援 ウ 病弱教育におけるICTの活用(国庫事業10/10) (ア) 病室と教室間の双方向通信による学習活動やVR(仮想現実)による体験学習等を実施 (イ) 病弱教育におけるICT活用の効果検証 (3) 事業効果 ア 子供たち一人一人の障害の特性に応じたICT機器の活用が、子供たちの「わかる・できる」を増やし、教育活動への主体的な参加を促す。 イ 子供たちが自らICT機器を活用できるようになることで、障害から生じる困難さを改善・克服し、自立と社会参加の実現を促す。 ウ 全県立特別支援学校へ整備することにより、学校間の格差を無くし、誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを実現できるようになる。					
2 事業主体及び負担区分									
(1) 補助入力装置・LTE通信環境の整備(国定額) 通信装置の整備(国1/2・県1/2) (2) ICT技術支援(国1/2・県1/2) (3) (国10/10)									
3 地方財政措置の状況									
地方交付税(単位費用) (区分)特別支援学校費(細目)学級経費 (細節)学級経費 (積算内容)教育用コンピュータ整備費									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員									
9,500千円×1.0人=9,500千円									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	0	国庫支出金	繰入金					0	235,782
現計額	235,782	83,275	△83,275					70,908	